

～あなたはどのように願っていますか？～

あなたはあなたの願いを神様にどのように祈り、どのように求めていますか？

私たちは時に、人間的に絶対無理・不可能！！と思うことに直面します。そのような時クリスチャンである私たちは「どんな状況でも神様に祈れば必ず叶う」ことを知っています。しかし、私たちは時に「ダメもと」という気持ち、最初から叶わないことを想定してマイナスなことを語ってしまうことがあります。それは神様に対してとても不信仰な行為ではないでしょうか。私たちは神様が全てのことをご存知で、神様を信じて行えば必ず応えられるということを知っています。ならば、信仰を持ってないでいることは、神様に対して大変失礼であり、もったいない行為です。では私たちはどのように神様にも求めていけばよいのでしょうか？そのことを今日の聖書箇所から学んでいきましょう。

ここではイスラエルの民ではないけれど熱心に神様に求め結果、その願いが叶えられた一人の女性が出てきます。私たちは人の行動、特に純粋で熱い人に対して、その行為を受け入れたいと思います。この箇所では彼女は3度イエス様に求めます。イエス様はこの女性に対し、最初無視し彼女の思いを試みるような行動にでます。しかし最後にはその信仰を立派とし、彼女の願いを叶えてくださいました。あなたは彼女のように熱心に求めることができますか。たいていの人々が求めたのに断られたり嫌な思いをしたりすると、それ以上求めることをやめてしまうのではないのでしょうか。最近では求めることができない人が増えたように思います。小さい子どもでさえ、求めて叶わない経験をすると素直に求めることができなくなっています。そのような子は何か欲しいとき、素直に「〇〇が欲しい」とは言えず「あ、〇〇がある」と言うのです。もらえたらラッキー、くれなかったら諦めるという行動をとってしまうのです。そのような環境で育った子は、勉強に対しても影響が出てきます。もともと子どもは夢を与えると自然と勉強しようとしてします。しかし、理由も分からず親からただ勉強しろと言われると子どもは自分の夢、願いは聞いてもらえないと思い、自分と関係ないもの、人には関わらない人間に成長してしまいます。私たちは子どもたちが素直に欲しいといえる環境、そして「いいものはいい、だめなものはだめ」ということが理解できる環境で成長させてあげたいものです。

だからこそ、この聖書箇所から学びとって欲しいことは人が神様に求めることの大切さです。ピリピ4:6-7に「何も思い煩わないで・・・あなたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってください。」とありますが、私たちの神様に対する願いは叶えられることが大前提で、失望したりあきらめたりせず、神様を信じて祈るなら心と願いが守られ、叶えられるのです。あなたは叶えられないことを前提に神様に求めていますか？求めるということはマタイ7:7-8に出てきますが、ここでの原語はいつも求め続けなさいと表現されています。私たちは感情的になると否定的になり神様に求めることを忘れてしまいます。そうすると目の前に良いものがあったとしてもそれを得ることができなくなります。求めているとそれが良いものか悪いものか分からなくなるからです。ですから神様は絶対なると信じて疑わず、信仰を持って祈りなさいと言われていています。疑う心はヤコブ1:5-8にあるようにすべてにおいて安定を欠いてしまうからです。ですから神様に求めるときに大事なことがあります。**1 願いを明白に！！**あなたは自分の願いを小さく、こんなものでいいかと思っていないですか。神様はあなたに志を立てさせ、大きな事を実現させてくださる方です。ですからあなたの幸せを小さなものにせず、大きなビジョンを明白にもって歩みましょう。特に正月は将来に対し何を求めるか考えるときです。来年をつかみ取るためにこうなる！というものを明白にしていきましょう。あなたの来年、十年後、最期・・・これからの将来を素直に真剣に神様と願いを共有し明白にしていきましょう。**2 絶対信じる** 願ったことは必ず与えられます！！神様は信じる人に応えてくださる方だからです。ですから子どものように純粋な気持ちで信じて願っていきましょう。**3 諦めない、挫けない** Iヨハ5:14-16に信じて願ったことはすでに叶えられたと信じなさいとあります。また、兄弟のために祈りなさいともあります。絶えず私たちの求めには隣人が必要です。もし私たちが目の前に起こった大切な出来事を見失って自分の問題にばかりに目が向いていたらそこにある願いはもしかすると叶わないかもしれません。しかし、もしあなたが隣人のためにたとえ否定されても最後まで諦めずに願い続けるなら、そのチャンスを失うことはありません。あなたが正しく歩んでいるなら悪いものはあなたの人生を妨害することができません。しかしもしあなたの人生をダメにすることができるなら、それは自分自身です。良くも悪くもできるのはあなた自身なのです。

ですから愛されたことを体験している私たち神の国とその義とをまず第一に求めていきましょう。あなた自身が任されている神様からの幸せを受けとり、それをあなたの隣人に流していきましょう。

いつも喜んでいなさい、絶えず祈りなさい、すべてことに感謝しなさいと神様は言われています。悪いものにチャンスを与えず、1人ひとりの1年がすばらしい年となるように、しっかりと神様に求めましょう。（要約者：平澤 瞳）